

文化財・歴史資料保全における超高精細スキャニング撮影技法セミナーを開催しました(2018/7/2)

テーマ：超高精細スキャナー 歴史資料の保全手法
場所：東北大学災害科学国際研究所 多目的ホール（仙台市青葉区）

7月2日（月）に災害科学国際研究所多目的ホールにおいて「文化財・歴史資料保全における超高精細スキャニング撮影技法セミナー」を開催しました。本セミナーは、昨年本研究所に導入された世界最先端の超高精細スキャナーについて、開発者である井手亜里氏（京都大学名誉教授）より同スキャナーを用いた世界各地で実践した文化財の撮影事例について講演をいただきました。また、高精細スキャンの活用に向けて、本研究所の蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）から古地図を活用した歴史地形の復元と防災への活用、また工藤稔氏（西華デジタルイメージ株式会社）から同システムの運用に関する報告が行われました。

その後、超高精細スキャナーを実際に動かし、江戸時代の村絵図の撮影を実演しました。本セミナーには宮城県内外より、学芸員や文化財関係者が約20名参加しました。



文責：蝦名裕一（人間・社会対応研究部門）